エコアクション21

環境経営レポート

対象期間　2024年4月1日～2025年3月31日







私たちは、地域と地球の環境に配慮した事業者です

®環境省

エコアクション21

認証番号 0007548

株式会社アスペック

2025 年7月　7日　作成

SDGs NAGANO JAPAN

NAGANO PREFECTURAL GOVERNMENT REGISTERED PARTNER

目　次

1．組織概要	・・・・・	1
2．認証・登録の対象組織・活動	・・・・・	2-3
3．主な実績	・・・・・	4
4．環境経営方針	・・・・・	5
5．環境経営目標及びその実績	・・・・・	6
6．環境活動計画	・・・・・	7-16
7．環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	・・・・・	17-25
8．環境関連法規制の遵守状況	・・・・・	26
9．代表者による全体の評価と見直し	・・・・・	27



1.組織概要



■ **事業者名及び代表者名**

株式会社 アスペック
代表取締役　楠　茂夫

■ **所在地**

本　　社	長野県長野市大橋南二丁目15番地
土　木　部	長野県長野市南長池478番地1
資材置場	長野県長野市真島町真島字梵天東沖1148他
資材置場	長野県須坂市八町

■ **環境管理責任者氏名及び担当者連絡先**

環境管理責任者	荒井勇治	
担当者及び連絡先	工事部工事課	荒井勇治
	総務部総務課	倉又麻江

本社　電話：026-283-2051　FAX:026-284-8699
土木部　電話：026-244-1608　FAX:026-259-2986
HP:http://kk-aspec.co.jp/
E-mail:aspec@ec5.technowave.co.jp

■ **事業内容**

建設業
土木工事業・舗装工事業・道路側溝補修及び産業廃棄物の収集運搬業

■ **事業の規模**

設立年月日	平成 4年 1月 1日
資　本　金	5,000　万円
売　上　高	1,908　百万円
	第34期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
従　業　員	45　名
延べ床面積（本社）	1,139 ㎡
延べ床面積（土木部）	387 ㎡
敷地面積（資材置場）	1,976 ㎡
敷地面積（土木部資材置場）	17,836 ㎡

2.認証・登録の対象組織・活動

■ 対象組織

代表取締役社長
環境経営に関する統括責任　・環境事務局等の任命等

環境管理責任者
環境経営システムの構築、実施、管理　・環境経営目標、環境活動計画書を確認

環境事務局
- ・環境管理責任者の事務局
- ・環境活動の実績集計
- ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施

本社
- 工事部
- 総務部
- 資材置場

土木部
- 土木部
- 総務部
- 資材置場

全従業員

安全衛生委員会	環境整備委員会	研修委員会	業務改善委員会
・安全衛生管理	・ｴｺｱｸｼｮﾝ21の推進活動	・安全大会等の計画、実施	・毎月重点目標の掲示
・月1回の安全ﾊﾟﾄﾛｰﾙ実施	・環境美化等、定期点検	・ｴｺﾄﾞﾗｲﾌﾞの推進	・ｸﾚｰﾑ報告や改善、検討



2.認証・登録の対象組織・活動

■ 対象範囲（認証・登録事業者名）

登録事業者名	株式会社アスペック
対象事業所	本社・資材倉庫（常駐者なし）、土木部、全組織・全活動・全従業員を対象
活動範囲	土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業 及び 産業廃棄物の収集運搬

■ 許可の内容

◆建設業

許可番号	長野県知事　特－1　第17532号
許可の有効期限	令和7年 2月17日　～　令和12年 2月16日
建設業の種類	土木工事業、舗装工事業、道路側溝補修業、産業廃棄物の収集運搬

◆産業廃棄物収集運搬業

許可番号	長野県知事　第2008056549号
許可の有効期限	令和5年10月12日　～　令和10年10月11日（令和10年10月11日）
産業廃棄物の種類	がれき類、汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず

■ 産業廃棄物収集運搬の状況

収集運搬実績	（受託）業としての実績	630.73 t
自社収集運搬実績		1573.96 t

■ 施設等の状況

積替え保管	なし			
運搬車両の種類と台数	1 t トラック	1 台	4 t コンテナ	1 台
	2 t ダンプ	2 台	8 t トラック	1 台
	3 t ダンプ	5 台	10 t トラック	1 台
	4 t トラック	2 台	10 t ダンプ	4 台
	4 t ダンプ	3 台		



3.主な実績

■ 環境負荷の実績

項目		単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量		kg-CO2/年	501,460	410,387	395,490
	電力(事務所)	量（kWh）	35,600	32,620	33,749
		料金（円）	3,246,090	1,899,580	2,143,108
	灯油(事務所)	量（L）	3,463	2,594	2,916
		料金（円）	413,752	331,661	36,027
	ガソリン（現場）	量（L）	22,675	25,273	25,731
		料金（円）	3,776,175	4,404,866	4,349,058
	軽油(現場)	量（L）	162,127	126,882	119,718
		料金（円）	18,264,328	17,823,848	16,005,081
	液化石油ガス(LPG)（現場）	量（kg）	2,198	1,293	1,710
		料金（円）	645,787	336,680	432,710
廃棄物排出量					
	一般廃棄物(事務所)	量（kg）	845	1,040	1,392
	産業廃棄物(現場)	量（t）	4,334	2,990	2,205
水使用量(事務所)		量（m3）	736	737	864
ネプラス工法(現場)		千円/年	15,235,000	9,790,000	4,250,000
太陽光発電（事務所）		kWh/年	33,418	33,570	18,534

※購入電力の排出係数は、R5.1.24環境省・経済産業省公表：ｴﾊﾞｰｸﾞﾘｰﾝﾘﾃｲﾘﾝｸﾞ　0.428（kg-CO2/kWh）

（令和3年度の実績　調整後排出係数）

4．環境経営方針

◆　理念　◆

アスペックは舗装工事を主とした土木関連事業を通じ、企画提案力と 顧客最優先のサービスで地域社会に貢献する建設会社として、当社 が掲げる『明るい職場と家庭の繁栄を創造します』の経営理念に 繋がる、地球環境の保全を企業活動の最重要使命とします。

◆経営方針◆

私たちは、これからの地球環境との調和を図れる技術の推進、環境保全 が重要課題との認識に立ち、次世代を担うにふさわしい専門工事業者とし て、環境に配慮した職場づくりと、一人ひとりの社員が主役の環境貢献活動 が不可欠であることを念頭に、常に新しい創造性に挑戦し、循環型社会の 一翼を担う企業として、自主的・積極的に環境への取り組みを推進します。
また、次世代に繋がる環境活動の推進としてSDGsの目標である 「誰一 人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を達成する為に 貢献していきます。

◆行動計画◆

具体的に次のことに継続的に取り組みます。

1） 電力・自動車及び重機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2） 建設資材の省資源、廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再利用化）の推進
3） 水資源の節水
4） コピー用紙の削減
5） 環境に配慮した施工（ネプラス工法）の推進
6） SDGs達成に向けた取り組み
7） IT・AIの導入

環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

制定日　2010年10月26日
改定日　2020年 7月 1日
改定日　2021年 8月23日
改定日　2022年 6月30日
改定日　2023年 7月4日
改定日　2024年7月30日

代表取締役社長　楠　茂夫

6.環境活動計画(詳細)

電力使用量削減

担当部署：総務部

① エアコンの温度管理
　　冷房 ： 26°C　　サーキュレータの活用
　　暖房 ： 22°C　　冷たい外気が入らないよう、ドアの開け閉めの工夫
② パソコン、プリンター等のスリープモードの活用
③ 昼休み時の消灯
　　消灯時間 ： 12時～13時の1時間
④ ノー残業デーの徹底、クールビスの長期化
⑤ 時間外における部分点灯
　　時間外勤務時における照明は、必要最小限の範囲のみとする



節電の心がけメッセージ



天井に空気循環用プロペラ設置

灯油使用量削減

担当部署：総務部

①暖房機（ﾌｧﾝﾋｰﾀｰ、ｽﾄｰﾌﾞ）使用時の室温の温度管理

使用期間	温度
１１月 ～ 4月	22°C以下

②灯油の給油時期の管理と使用前のフィルター等の清掃
③不使用時の電源オフ

使用しない期間	5月～10月

④ウォームビズの実施
⑤ブラインドの調節で太陽光を有効利用する



室内温度掲示

ガソリン・軽油使用量削減

担当部署：工事部

①車両の適正運転（エコドライブの推進）
　現場に見合った重機の選定、不必要な道具の積載禁止で車体を軽くする努力をする
　タイヤの空気圧のチェック
　環境に配慮した運転「エコドライブ」で燃費を向上させ、二酸化炭素などの排出量を減らす
②アイドリングストップの励行
③車両・建設機械の定期点検
　定期的な点検整備をして、燃費と安全性を向上させる
　オイル交換をこまめにして、燃費を向上させる
④効率的なルートの選択
　カーナビの積極的な利用で、効率的な営業ルートの策定をする
⑤建設機械の対策型機種の優先使用と購入の検討
⑥機械操作の向上
⑦ハイブリッド車に全車変更



エコドライブ講習会

一般廃棄物排出量削減

担当部署：総務部

①ごみの排出量の把握と管理

把握方法	ごみの回収前に必ず計量

②ペーパーレス化

複写機の機能（スキャナ機能、両面・集約印刷）を積極的に利用する

Faxをデータ受信。必要な物だけプリントアウトする

パソコンからの印刷の前にプレビュー画面で確認してから印刷してミスコピーの削減に努める

③リサイクルの徹底

社内書類は裏紙（機密文書は除く）を使用する

両面使用済の用紙はリサイクルにまわす

社内文書は使用済み封筒を再使用する

メモ用紙やスクラップ台紙への利用



古封筒再利用

④ごみの分別の徹底

従業員の分別意識が向上するよう、分かりやすくポスターなどを掲示

法定保存年限が経過した帳簿書類等は、随時処分する

⑤ゴミを持ち込まない

マイカップの利用や、再利用できる容器の使用（お弁当箱等）



コピー用紙再利用

廃棄物の重量の視覚化

ごみ分別時に重量を計測し表に記入することで、数値を視覚化する

産業廃棄物排出量削減

担当部署：工事部

①廃棄物の適正処理

マニフェストにより適正処理し、許可を受けた産廃処理委託業者に引き渡す

②産廃排出量の把握

把握方法	産業廃棄物管理票（マニフェスト）による把握

③分別のルール

現場	施工場所で分別してから運ぶ
第1資材ヤード	燃えるもの、廃プラ、木くず、金属くずに分ける
土木部	木くず、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ、ﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ以外の紙、廃ﾌﾟﾗ、鉄くずに分別する

④3R活動

Reduce(ﾘﾃﾞｭｰｽ) ： 減らす　　Reuse(ﾘﾕｰｽ)：再利用する　　Recycle(ﾘｻｲｸﾙ)：再資源化する

水使用量削減

担当部署：総務部

①日常的な節水
　節水のステッカーを貼り、節水の意識を高める
②井戸水のメーターの管理
③水漏れの点検と管理
　総務部で点検を行い、水漏れ等の不具合があった場合はすぐに対応する
④使用後は確実に栓を締める。水量を抑えるために元栓の調整をする



節水呼びかけメッセージ

ネプラス工法の推進

担当部署：工事部

①受注先、現場でのネプラス工法の提案

公共工事	道路改良工事、側溝改良工事、道路維持修繕工事等
環境	建設廃材80％削減、掘削残土は100％削減、CO2排出量77％削減
リサイクル	側溝の使える部分（上部以外の部分）は利用

②ホームページで情報の公開
　当社ホームページ　http://kk-aspec.co.jp　にて施工実績やネプラス工法について詳しく掲載
③ネプラス工法の講習会への参加
　講習会に出席することで、業界内での情報交換などを行う



側溝の痛んだ部分だけ取り除き使える部分は利用する



太陽光発電　電力量の把握

担当部署：総務部

①　社屋2F・３F屋根に太陽光パネルが設置されている
　208.4W×129枚
②　毎月の電力量・売電金額を把握していく





再生可能エネルギー地中熱利用の促進

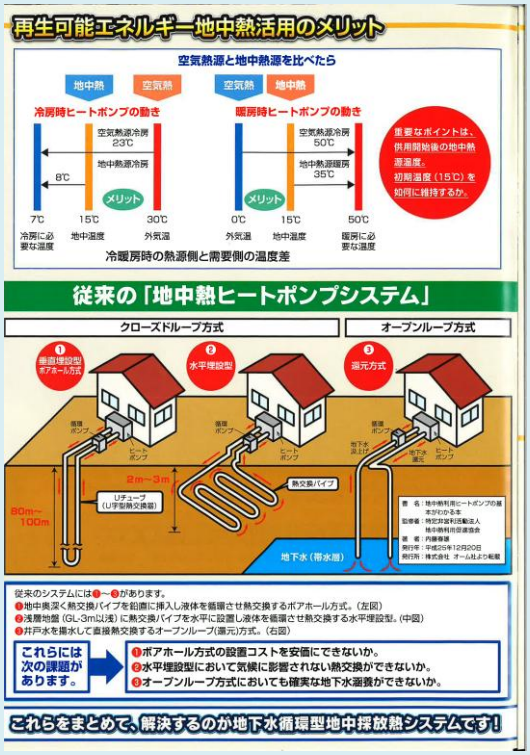
担当部署：工事部

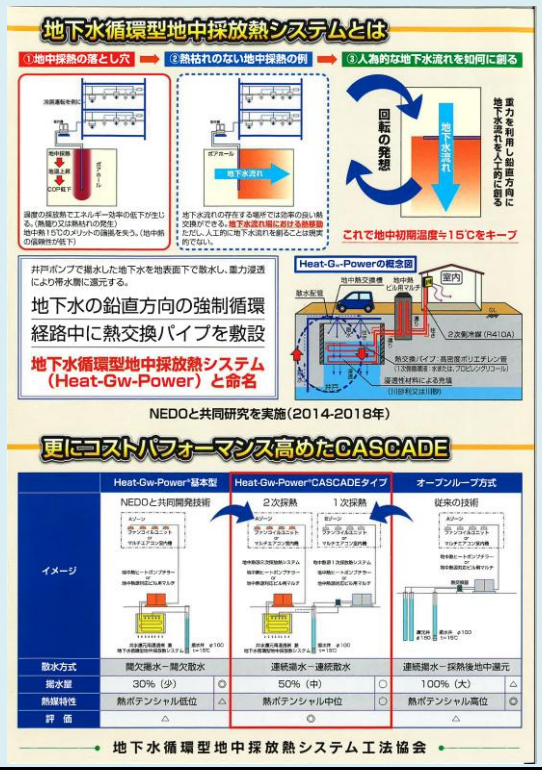
地下水循環型地中採放熱システム工法協会の会員登録

二酸化炭素排出量を実質ゼロにする目標に向かって、再生可能エネルギーの1つである地中熱の利用を促進するため、当社は、地下水循環型地中採放熱システム工法協会に会員登録しています。

システムの構築に向けた研究段階から熱交換槽等の施工に携わり、実用化された現在も普及に努めています。

※地下水循環型地中採放熱システム工法協会パンフレットより抜粋



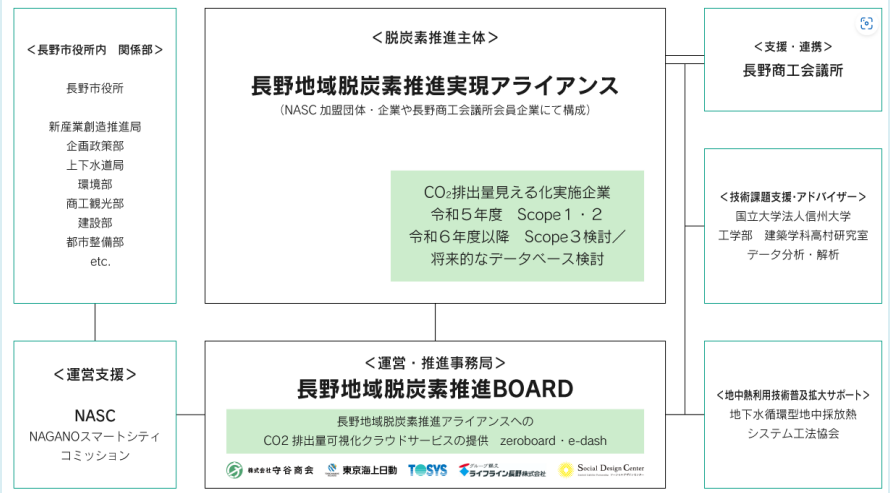


CO2排出量可視化・削減の促進

担当部署：総務部

長野地域脱炭素実現推進協議会に加入し、長野市からの補助金を活用し、「CO2排出量可視化・削減」に取り組んでいます。

「地域ぐるみの脱炭素を実現し、長野地域の未来を切り拓く」を合言葉に活動しています。



6.環境活動計画(その他)

タブレット端末導入

担当部署：総務部

必要なデータをクラウド（BOX)に保管。会社外からでも必要なデータを見たり、書き込んだり
することが出来るようにした。
移動の時間を省き、効率よく業務を遂行し生産性を上げる。

2023年度売上高	2024年度売上高
2,445,000,000円	1,908,000,000円

537,000,000
円減少↓

マニフェストの電子化

担当部署：総務部

マニフェスト情報を電子化し、排出事業者、収集運搬業者、処分業者の3者が情報処理センターを
介したネットワークでやり取りする。
印刷作業がなくなることで、業務効率が上がる。

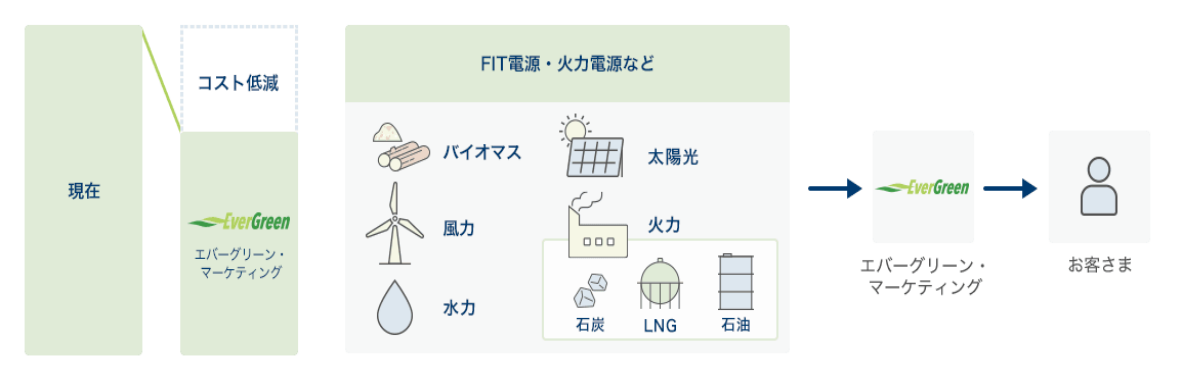
2023年度使用件数	2024年度使用件数
35件	82件

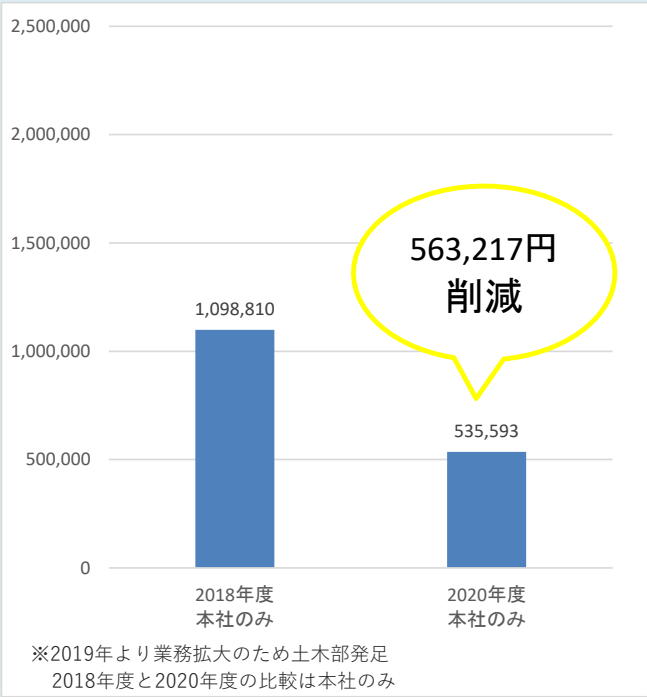
47件増加

電力料金の削減

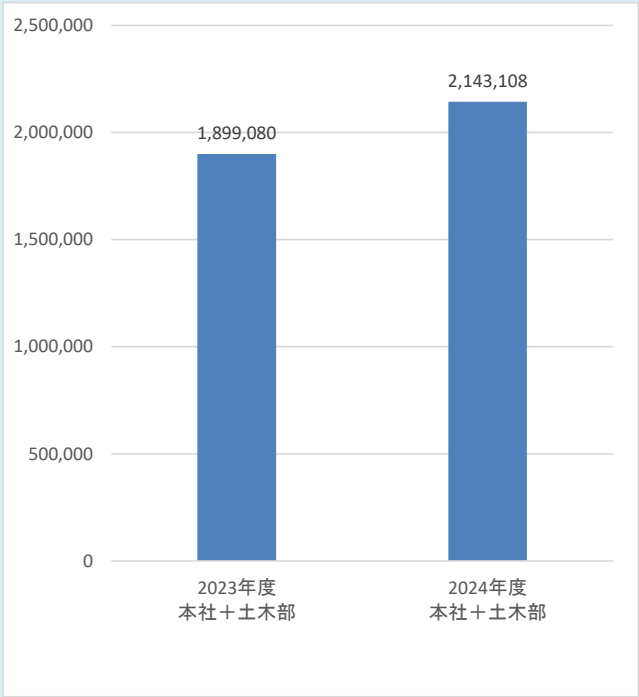
担当部署：総務部

2019年10月より購入電力会社をイーレックス㈱（エバーグリーン・リテイリング㈱）にすることによりコスト削減





※2019年より業務拡大のため土木部発足
2018年度と2020年度の比較は本社のみ



長野県SDG s 推進企業登録　　担当部署：総務部

企業活動を通して、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に意欲的に取り組む企業等を登録・PRする長野県独自の制度

SDGs達成に向けた経営方針

弊社の経営理念である
「私たちは企画提案力を最大限発揮し顧客最優先のサービスで地域社会に貢献すると共に、明るい職場と家庭の繁栄を創造します」は、SDGsの達成と目的を同じくするものであり、社員一人ひとりがそのことを自覚してそれぞれの役割を果たしていくことによりSDGsの達成に貢献していきます。

SDGs達成に向けた重点的な取組

重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況（2025年3月31日現在）
エコアクション２１の活動に沿ったCO2の削減	CO2排出量の20%削減	2020年度：531,695kg/CO2 ↓ 2024年度：395.490kg/CO2
ネプラス工法の普及（コスト低減・省資源・省エネ・工事期間の短縮）	年間受注件数　10件	年間受注件数⇒2件
労働生産性向上に繋がる合理化手法の導入件数	IT・AI等の導入含め5件	特になし

25%削減



健康・地域貢献

担当部署：総務部

健康経営優良法人認定

社員とその家族が安心して幸せに暮らしていけるような仕組みを作りたいという思いから
「健康経営」の取組を進めてきました。
「ヘルスアップチャレンジ」宣言をし、社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して
活動しています。



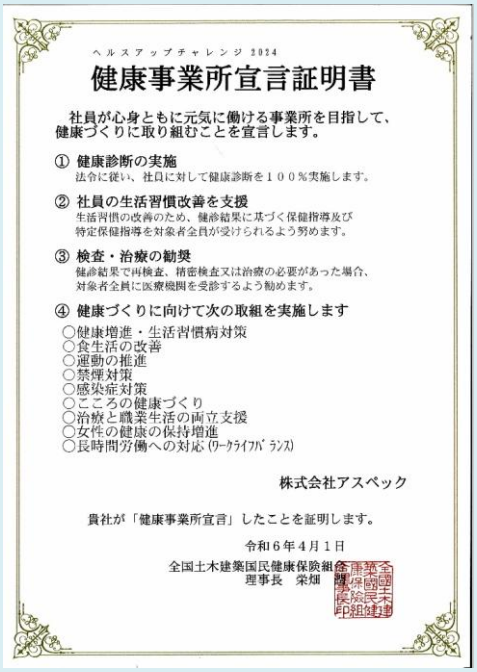
認定証
（中小規模法人部門）

法人名　株式会社アスペック

貴法人は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取組が優良であると認められました
よって、ここに「健康経営優良法人 2025（中小規模法人部門）」として認定します
経済産業省及び厚生労働省と共に、今後一層取組を推進されることを期待いたします

2025年3月10日

日本健康会議



ヘルスアップチャレンジ 2024

健康事業所宣言証明書

社員が心身ともに元気に働ける事業所を目指して、
健康づくりに取り組むことを宣言します。

① 健康診断の実施
法令に従い、社員に対して健康診断を１００％実施します。

② 社員の生活習慣改善を支援
生活習慣の改善のため、健診結果に基づく保健指導及び特定保健指導を対象者全員が受けられるよう努めます。

③ 検査・治療の勧奨
健診結果で再検査、精密検査又は治療の必要があった場合、対象者全員に医療機関を受診するよう勧めます。

④ 健康づくりに向けて次の取組を実施します
○健康増進・生活習慣病対策
○食生活の改善
○運動の推進
○禁煙対策
○感染症対策
○こころの健康づくり
○治療と職業生活の両立支援
○女性の健康の保持増進
○長時間労働への対応（ワークライフバランス）

株式会社アスペック

貴社が「健康事業所宣言」したことを証明します。

令和６年４月１日

全国土木建築国民健康保険組合
理事長　栄畑

地域貢献

長野市消防団協力事業所表示制度

地域の一員として、地域活動を通じて
地域との交流を深めると共に、
災害発生時には、防災活動に協力します。
消防団員の活動し易い環境を
整えています



健康・地域貢献

担当部署：総務部

「社員の子育て応援宣言」・「イクボス・温かボス宣言」

社員が安心して子どもを産み育て、子育てや介護等の家庭生活と仕事を両立していくことができるよう「社員の子育て応援宣言」と「イクボス・温かボス宣言」をしました。



第１期
（登録番号：1856）
「社員の子育て応援宣言」登録証

住　　所　長野市大橋南2-15
名　　称　株式会社アスペック
代表者氏名　代表取締役　楠　茂夫

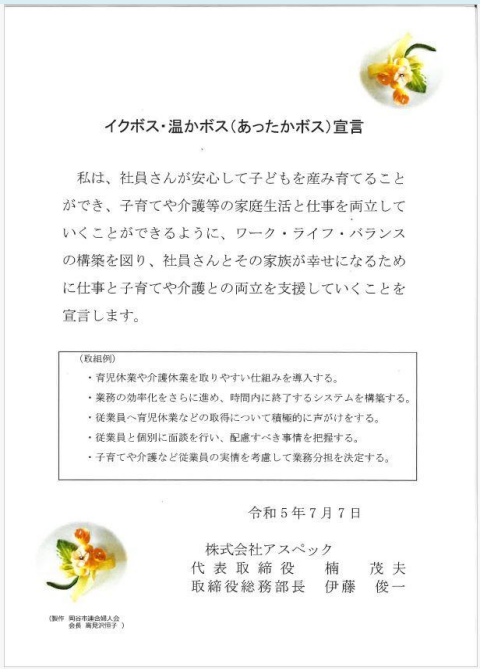
貴社は、従業員の仕事と子育ての両立を支援するために、次の取組を行うことを宣言しました。

宣言内容

1．出産お祝い一時金、進学時お祝い一時金を支給します。
2．毎週水曜日の「ノー残業デー」を徹底します。
3．育児休業が取りやすいように、作業チーム編成の組替を弾力的に行います。

【登録期間：2023年8月14日～2025年8月13日】

令和5年8月11日
長野県知事　阿部守一



イクボス・温かボス（あったかボス）宣言

私は、社員さんが安心して子どもを産み育てることができ、子育てや介護等の家庭生活と仕事を両立していくことができるように、ワーク・ライフ・バランスの構築を図り、社員さんとその家族が幸せになるために仕事と子育てや介護との両立を支援していくことを宣言します。

（取組例）
・育児休業や介護休業を取りやすい仕組みを導入する。
・業務の効率化をさらに進め、時間内に終了するシステムを構築する。
・従業員へ育児休業などの取得について積極的に声がけをする。
・従業員と個別に面談を行い、配慮すべき事情を把握する。
・子育てや介護など従業員の実情を考慮して業務分担を決定する。

令和５年７月７日

株式会社アスペック
代表取締役　楠　茂夫
取締役総務部長　伊藤　俊一

（制作　岡谷市議会婦人会　会長　髙見沢恒子）

地域貢献

担当部署：総務部

寄付型自販機の設置

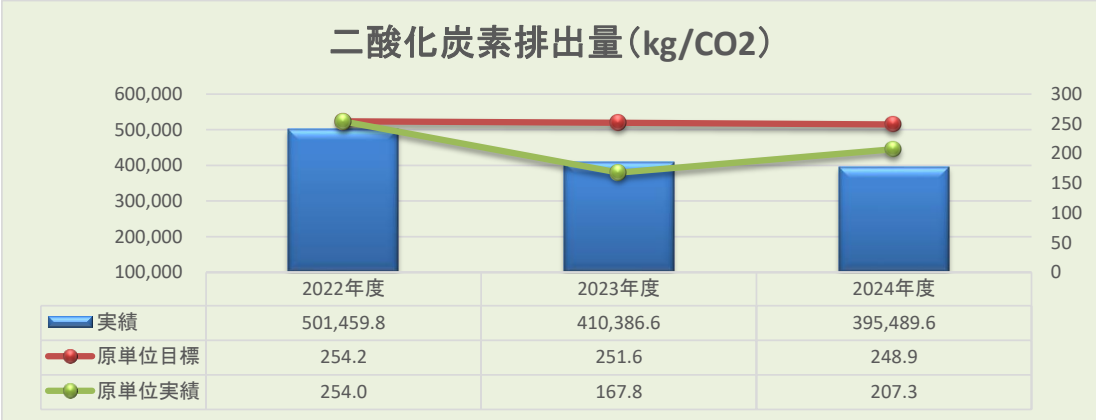
自販機を媒体として市民へ利用して頂き、子育て支援に対する啓蒙活動を広め、市の「ヤングケアラー」の支援に活用して頂くよう、「長野市子育て支援自動販売機」を設置しました。



7.環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

二酸化炭素排出量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



	2022年度	2023年度	2024年度
実績	501,459.8	410,386.6	395,489.6
原単位目標	254.2	251.6	248.9
原単位実績	254.0	167.8	207.3

■総量■

目標	実績	達成率	評価
491,430.6 kg-CO2/年	395,489.6 kg-CO2/年	124.3%	達成

■原単位■

目標	実績	達成率	評価
248.9 kg-CO2/百万円	207.3 kg-CO2/百万円	120.1%	達成

◆取組結果

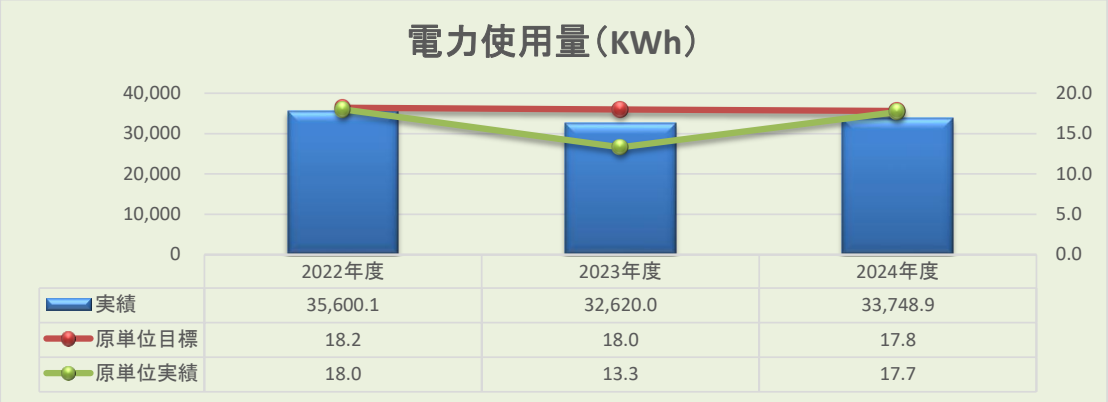
総量・原単位とも目標を達成することができた。
売上高が減少したため、それに比例し排出量も減少した。原単位実績は昨年よりも増加してしまった。

◆次年度の取組

・講習会などを継続して行い、社員一人一人の意識を高める。
・古い車両や重機の更新、ハイブリット車への買い替えを順次進めていく。

電力使用量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



	2022年度	2023年度	2024年度
実績	35,600.1	32,620.0	33,748.9
原単位目標	18.2	18.0	17.8
原単位実績	18.0	13.3	17.7

■総量■

目標	実績	達成率	評価
34,888.1 kWh	33,748.9 kWh	103.4%	達成

■原単位■

目標	実績	達成率	評価
17.8 kWh/百万円	17.7 kWh/百万円	100.6%	達成

◆取組結果

総量・原単位ともに目標を達成することができた。
平年よりも気温の高い日が続きエアコンの使用が増え、昨年よりも実績が増加してしまった。
だが、完全週休二日制になったため全体的に使用量を削減することができた。

◆次年度の取組

・設定温度の徹底、エアコンフィルターの清掃を行う。
・所定労働時間内での業務ができるように効率の良い割り振りや、日程調整をする。
・省エネ機器へ入れ替える
・クールビズ・ウォームビズの実施する。
・不使用時は電源を切る。

灯油使用量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



■総量■

目標		実績	達成率	評価
3,394.1 (L)	→	2,916.4 (L)	116.4%	達成

◆取組結果

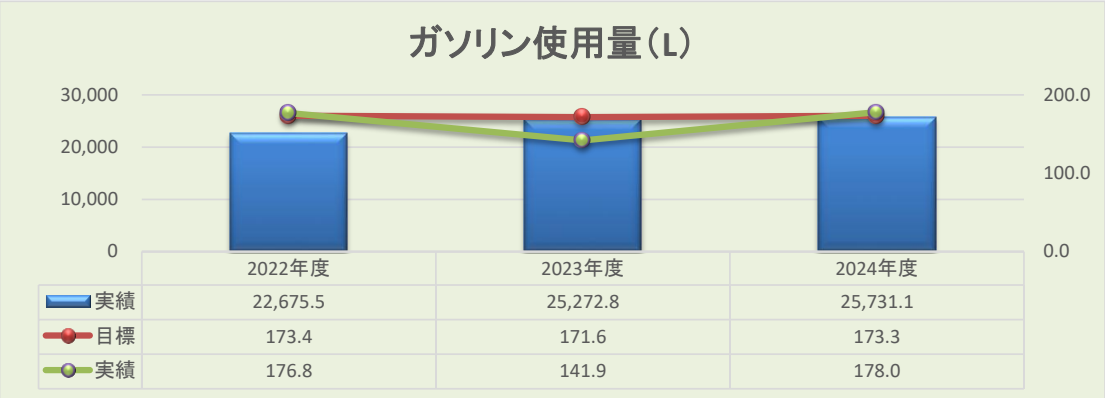
前年度と比較すると実績は上がってしまったが、
目標は達成することができた。
今冬は全国的に低温傾向になった為、昨年よりも
使用量が増加したと考えられる。

◆次年度の取組

・設定温度の管理を徹底する。
・暖房機器の点検清掃をこまめに行う。
・不使用時は電源を切る。
・ブラインドを調節し、太陽光を有効活用する。
・ウォームビズの実施等徹底していく。
・灯油の残量の管理を徹底していく。

ガソリン使用量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



■総量■

目標		実績	達成率	評価
22,222.0 (L)	→	25,731.1 (L)	**86.4%**	×

■原単位■

目標		実績	達成率	評価
173.3 (L/百万円)	→	178.0 (L/百万円)	**97.4%**	×

◆取組結果

総量・原単位ともに目標を達成することができなかった。職員の増加、営業車両の増加に伴い使用量が増加した。増加傾向にある為、エコドライブ等について意識を高めていく。

◆次年度の取組

・車両や重機の適正運転（エコドライブ）を推進していく。
・不必要な道具を乗せないなど車体の軽量化を心掛ける。
・カーナビの積極的利用による効率的なルートの算定等を徹底する。
・車両増加に伴う使用量増加の把握に注意していく。

軽油使用量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



■総量■

目標		実績	達成率	評価
158,884.5 (L)	→	119,718.3 (L)	**132.7%**	達成

■原単位■

目標		実績	達成率	評価
1,273.8 (L/百万円)	→	833.0 (L/百万円)	**152.9%**	達成

◆取組結果

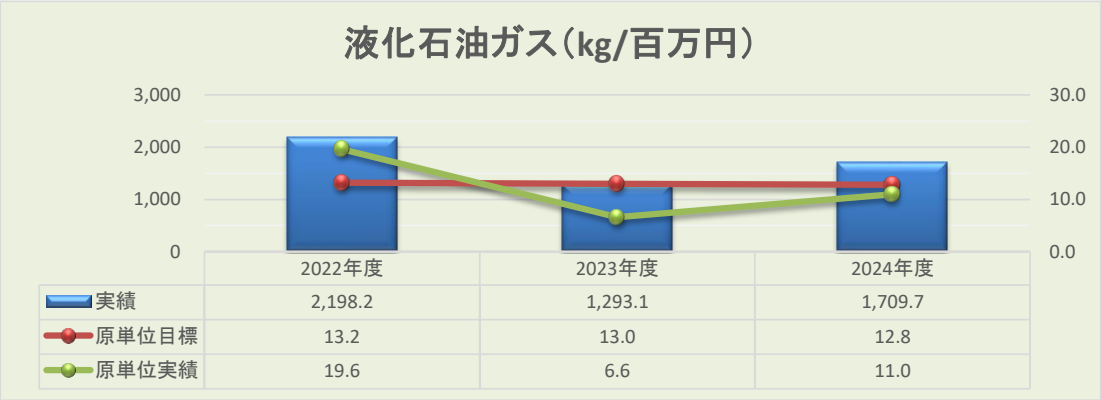
総量・原単位ともに目標を達成することができた。重機、ダンプトラック等の買い替えを行っているため燃費が良くなっている。年々減少傾向にあるので今後も可能な範囲での削減を努める。

◆次年度の取組

・車両や重機の適正運転（エコドライブ）を推進していく。
・カーナビの積極的利用による効率的なルートの算定等を徹底する。
・排出ガス対策型機械の優先使用と購入を推進していく。

液化石油ガス（LPG）使用量削減

取組目標：基準年度実績より2%減



■総量■

目標		実績	達成率	評価
2,154.2 (kg)	→	1,709.7 (kg)	**126.0%**	達成

■原単位■

目標		実績	達成率	評価
12.8 (kg/百万円)	→	11.0 (kg/百万円)	**116.4%**	達成

◆取組結果

総量・原単位ともに目標を達成することができた。
全体的に昨年よりも増加してしまった。

◆次年度の取組

・使用時に節約を意識する。
・こまめな温度設定を心掛ける。

一般産業廃棄物排出量削減

取組目標：基準年度実績より4%減



■総量■

目標		実績	達成率	評価
828.3 (kg)	⇒	1,391.7 (kg)	**59.5%**	✕

◆取組結果

目標を達成することができなかった。
職員増加に伴い年々増加傾向にあると考えられるが、改めて一人一人がペーパーレス化、ゴミの分別等について考えゴミの削減に繋げていく必要がある。

◆次年度の取組

・ペーパーレス化を推進していく。
・ゴミの分別の徹底をしていく。
・ミスコピーを減らす。
・事務員の増加による要因もあるため、今後の排出量に注意していく。

産業廃棄物排出量削減

取組目標：基準年度実績より4%減



	2022年度	2023年度	2024年度
実績	4,334.1	2,990.2	2,204.7
原単位目標	1.4	1.4	40.2
原単位実績	41.0	11.9	13.2

■総量■

目標	実績	達成率	評価
4,247.4 (t)	2,204.7 (t)	192.7%	達成

■原単位■

目標	実績	達成率	評価
40.2 (t/百万円)	13.2 (t/百万円)	304.5%	達成

◆取組結果

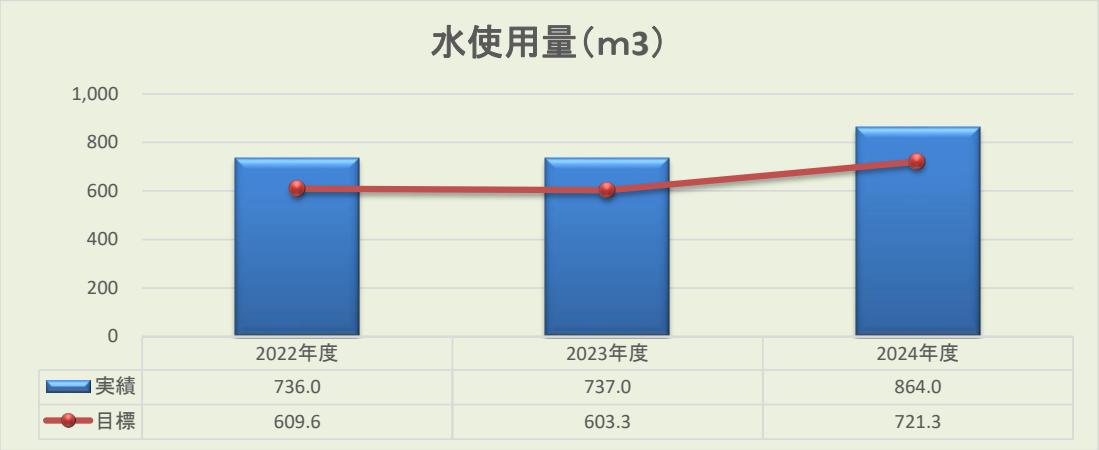
総量・原単位ともに目標を達成することができた。年々減少傾向にある。

◆次年度の取組

・安全パトロールでの確認を行い、引き続き削減に努めていく。
・廃棄物の適正処理、産廃排出量の把握、3R運動分別のルールの周知徹底をしていく。

水使用量削減

取組目標：基準年度実績より4%減



■総量■

目標		実績	達成率	評価
721.3 (m3)	→	864.0 (m3)	83.5%	×

◆取組結果

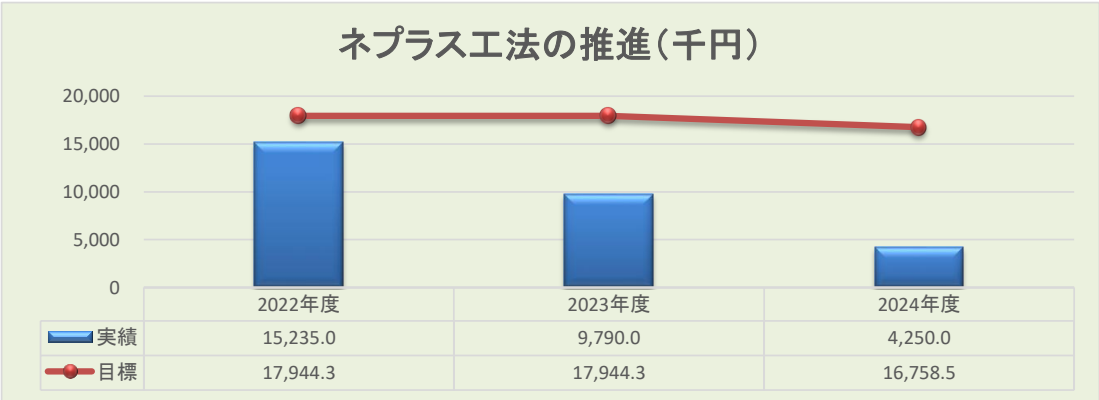
目標を達成することはできなかった。年々増加している為、改めて節水の声掛けを行う。

◆次年度の取組

・日常的に節水を意識する。
・水漏れの点検と管理をこまめに行う。
・元栓を調整し水量を抑制する。

ネプラス工法の推進

取組目標：基準年度実績より10%増



■総額■

目標		実績	達成率	評価
16,758.5 (千円)	→	4,250.0 (千円)	25.4%	×

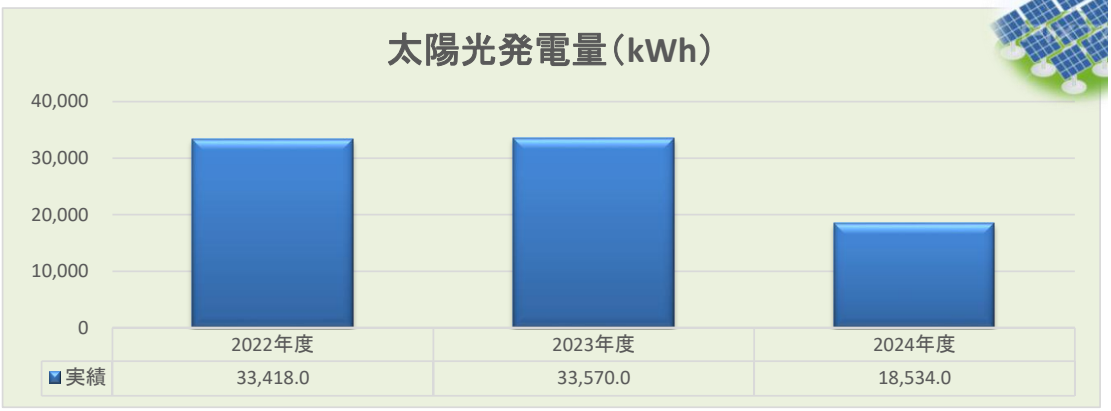
◆取組結果

目標を達成することができなかった。
受注件数は昨年と変わらなかったが、実績が減少してしまった。

◆次年度の取組

・現場等でのネプラス工法の提案をする。
・パンフレット等で宣伝をする。
・ホームページで積極的にPRしていく。

太陽光発電量



■総量■

◆取組結果	◆次年度の取組
天候に左右されるため目標値は持たないが、売電量を知ることで自然エネルギーへの関心を高める。 太陽光発電の不具合により、10月頃から発電が行えていなかった。	・引き続きデータの集計をしていく。 ・太陽光発電が行えているか定期的に確認する

5.環境経営目標及びその実績

環境経営目標項目	単位	基準値		今年度	中長期目標		
		2022年度		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	501,459.8	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	491,430.6	486,416.0	481,401.4	476,386.8
			実績	395,489.6	—	—	—
	原単位(kg-CO2/売上高)	254.0	原単位目標	248.9	246.4	243.8	241.3
			原単位実績	207.3	—	—	—
電力使用量	kWh	35,600.1	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	34,888.1	34,532.1	34,176.1	33,820.1
			実績	33,748.9	—	—	—
	原単位(kg-CO2/売上高)	18.2	原単位目標	17.8	17.7	17.5	17.3
			原単位実績	17.7	—	—	—
灯油使用量	L	3,463.4	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	3,394.1	3,359.5	3,324.9	3,290.2
			実績	2,916.4	—	—	—
ガソリン使用量	L	22,675.5	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	22,222.0	21,995.2	21,768.5	21,541.7
			実績	25,731.1	—	—	—
	原単位(L/百万円)	176.8	目標	173.3	171.5	169.7	168.0
			実績	178.0	—	—	—
軽油使用量	L	162,127.0	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	158,884.5	157,263.2	155,641.9	154,020.7
			実績	119,718.3	—	—	—
	原単位(L/百万円)	1299.8	目標	1,273.8	1,260.8	1,247.8	1,234.8
			実績	833.0	—	—	—
液化石油ガス(LPG)	kg	2,198.2	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	2,154.2	2,132.3	2,110.3	2,088.3
			実績	1,709.7	—	—	—
	原単位(kg/売上高)	19.6	原単位目標	12.8	19.0	18.8	18.6
			原単位実績	11.0	—	—	—
一般廃棄物排出量	kg	845.2	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	828.3	819.8	811.4	802.9
			実績	1,391.7	—	—	—
産業廃棄物排出量	t	4,334.1	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	4,247.4	4,204.1	4,160.7	4,117.4
			実績	2,204.7	—	—	—
	原単位(t/百万円)	41.0	原単位目標	40.2	39.8	39.4	39.0
			原単位実績	13.2	—	—	—
水使用量	m3	736.0	削減率	2%	3%	4%	5%
			目標	721.3	713.9	706.6	699.2
			実績	864.0	—	—	—
ネプラス工法	千円	15,235	増加率	10%	10%	10%	10%
			目標	16,758.5	16,758.5	16,758.5	16,758.5
			実績	4,250.0	—	—	—
太陽光発電発電量	kWh	33,418	実績	18,534.0	—	—	—

8. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

適用法	要求事項	遵守状況の確認及び評価の結果
廃棄物処理法	委託契約の書面	○
	マニフェストの管理	○
	実績報告書	○
	産業廃棄物収集運搬業許可証 （令和５年10月12日　更新許可）	○
資源有効利用促進法	再生資源利用促進計画書	○
建設リサイクル法	対象工事における再資源化等報告書	○
騒音規制法	特定建設作業実施届出書	○
振動規制法	特定建設作業実施届出書	○
フロン排出抑制法	簡易点検表による管理	○
自動車リサイクル法	引き渡し時における適正な処理（リサイクル券）	○
家電リサイクル法	引き渡し時における適正な処理（リサイクル券）	○
消防法	少量危険物の管理	○

(2) 違反、訴訟等

環境関連法規の遵守状況は、4月に環境管理責任者を中心として確認し調べた結果、環境法規への違反はありませんでした。

また過去3年間違反・訴訟の無いことを報告します。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

● 全体評価

（1）	環境経営方針 環境経営方針については変更ありません。
（2）	環境関連法規等の遵守状況 法規等の遵守評価については問題ありません。
（3）	環境経営目標の達成状況 二酸化炭素排出量・電力使用量・灯油使用量・軽油使用量は削減目標を達成できたが、ガソリン使用量・一般廃棄物排出量・水使用量は達成できなかったため今後も削減に努めていく。職員増加に伴う使用量等増加の把握に注意する。 ノー残業デーの励行、休日出勤の際の代休の取得の励行に取り組んでいく。
（4）	環境活動計画の実施状況 スケジュール通りに実施されています。
（5）	実施体制 特に変更の必要はありません。
（6）	外部からの苦情等への対応 特にありません。
（7）	その他 特にありません。

● 見直しの結果

〇昨年度同様、化石燃料削減に向け、手直し工事ゼロを目標に施工を行っていく。

〇各自の技能向上により、作業効率をあげ、CO2排出量の少ない工事を目指す。

〇使用機械や車両のハイブリッド車・低排出ガス機械等への買い替えを進めていく。

〇残業の圧縮努力や休日の増加により、環境負荷を減少させる。

総労働時間が減ったことで、生産性が落ちることのないように、

無駄を省いて、効率の良い作業をする。

〇社員とその家族が健康に過ごしていけるよう健康経営に力をいれていく。

〇全体を通して目標の達成ができているので引き続き取り組みを意識していく。